

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（3月21日-27日）の新規陽性者数は、5,097人（先々週 4,504人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)^{*1}は1.12 [最小値0.47-最大値1.57]、このうち那覇市は1.19 [0.53-1.83]でした。また、宮古は1.40 [0.43-3.16]、八重山は1.09 [0.54-1.55]でした（図1）。全県的に流行は下げ止まったまま推移しています。

*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

年齢階級別推移

年齢階級別では、20代が1,117人（22%）と最多であり、10代905人（18%）、30代827人（16%）と続きます（図2）。20代が最多となったのは、第6波の始まりとなった1月10日の週以来のことです。各歳別にみると、20歳に突出して多く、3月20日に一部市町村で成人式が開催された影響が考えられます（図3）。一方、高齢者については減少傾向が続いています（図4）。

幼年・若年層

学校別では、保育・幼稚園児160人（先々週142人）、小学生485人（先々週466人）、中学生208人（先々週226人）、高校生166人（先々週214人）でした。卒業式イベントで増加していた高校生は、二次感染で拡大することなく減少しているようです。保健所による疫学調査によると、いず

れの層でも家庭内感染が最多であり、保育・幼稚園児を除いて、友人が多くなっています（図5）。

保健所管区別・市町村別推移

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部283人（先々週228人）、中部1,722人（先々週1,731人）、那覇市1,281人（先々週1,098人）、南部1,435人（先々週1,180人）、宮古150人（先々週83人）、八重山163人（先々週145人）でした（図6）。

人口1万人以上の市町村別（人口10万人あたり7日間合計）では、多い順に中城村433（先々週300）、西原町420（先々週302）、沖縄市404（先々週334）でした（図7）。

なお、県外からの渡航者は57人（先々週34人）であり、このうち神奈川県10人、東京都9人、大阪府8人であり、渡航元は18都道府県と散らばっています。

入院患者数推移

入院患者数は、先週末（3月27日時点）で151人と1週間前より2人減少し、酸素投与など中等症患者は85人と1週間前より4人増加しています。また、気管挿管など重症患者は2人と1週間前と変わりません（図8）。この他、社会福祉施設で療養されている陽性者が、先週末（3月13日時点）で9施設に23人おられ、1週間前より7人減少しています。

なお、先週末（3月27日時点）における病床占有率は、沖縄本島25.1%、宮古地区9.1%、八重山地区29.5%となっています。新規陽性者数は増加していますが、高齢者の新規陽性者の減少が続い

ていることから、現在は受け入れ病床に余裕があります。

【今後の見通しと対策】

沖縄県では、アクティブな20代、30代において新規陽性者数の増加が顕著であり、過去の流行早期の傾向と合致しています。ただし、高齢者の新規感染は減り続けており、入院医療への負荷は限定的となっています。先週は5,097人の新規陽性者を認めましたが、このうち新規入院患者は99人（入院受療率1.9%）と1週間前より2人減少しています。このため、確保病床の占有率は25%前後で推移しています。

県外からの渡航者において感染確認が増加しています。本土においても流行が続いていることから、春休みの帰省の受け入れには十分な注意が必要です。帰省前に検査を受けて陰性を確認するほか、受け入れる世帯の高齢者や基礎疾患を有する方、そして肥満のある方などは、できるだけ3回目のワクチン接種を終わらせるようにしてください。

また、年度の変わり目となります。送別会や歓迎会、懇親会など職場でのイベントには十分な注意が必要です。できるだけ多人数での会食は避けるか、事前に参加者全員の検査陰性を確認することをお勧めします。また、少しでも体調に異常がある場合には、検査結果によらず参加を控えることを徹底してください。

今後は感染拡大する可能性が高いと考えられますが、現時点では高齢者への移行は限定的となっています。今後も、高齢者や基礎疾患を有する者、肥満、妊婦の一部など重症化リスクの高い方々を守り、とくに高齢者施設（デイサービスを含む）における集団感染を回避することが重要です。

今週の新規陽性者数は、6,000-7,000人となり、うち新規入院患者数は165-195人と見込まれます。これにより今週末までに入院患者数は165-175人に至り、うち重症患者数は2人前後と見込まれます（図9）。感染力が強いとされる「BA2」系統の

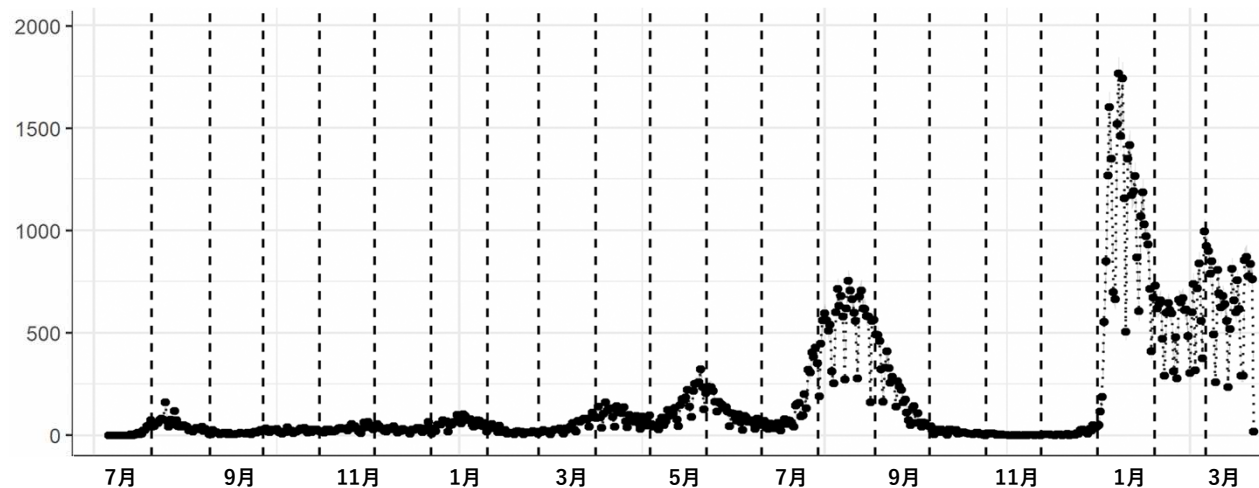
ウイルスへの置き換わりが進んだ場合には、さらに増加することも考えられます。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

陽性者数 (確定日)

日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数

直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

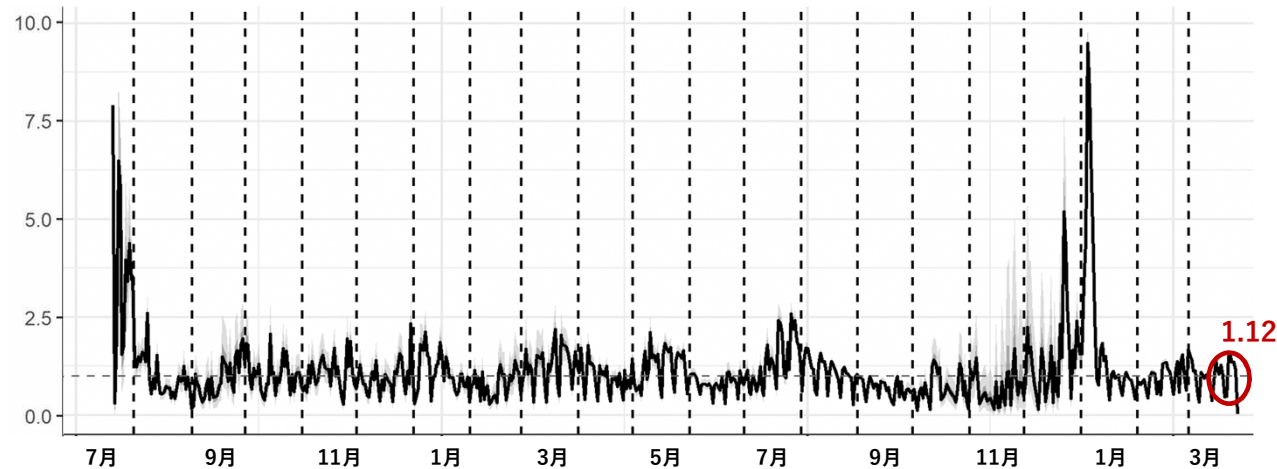


図2 性年齢階級別に見る陽性者数 (3月21日~27日)

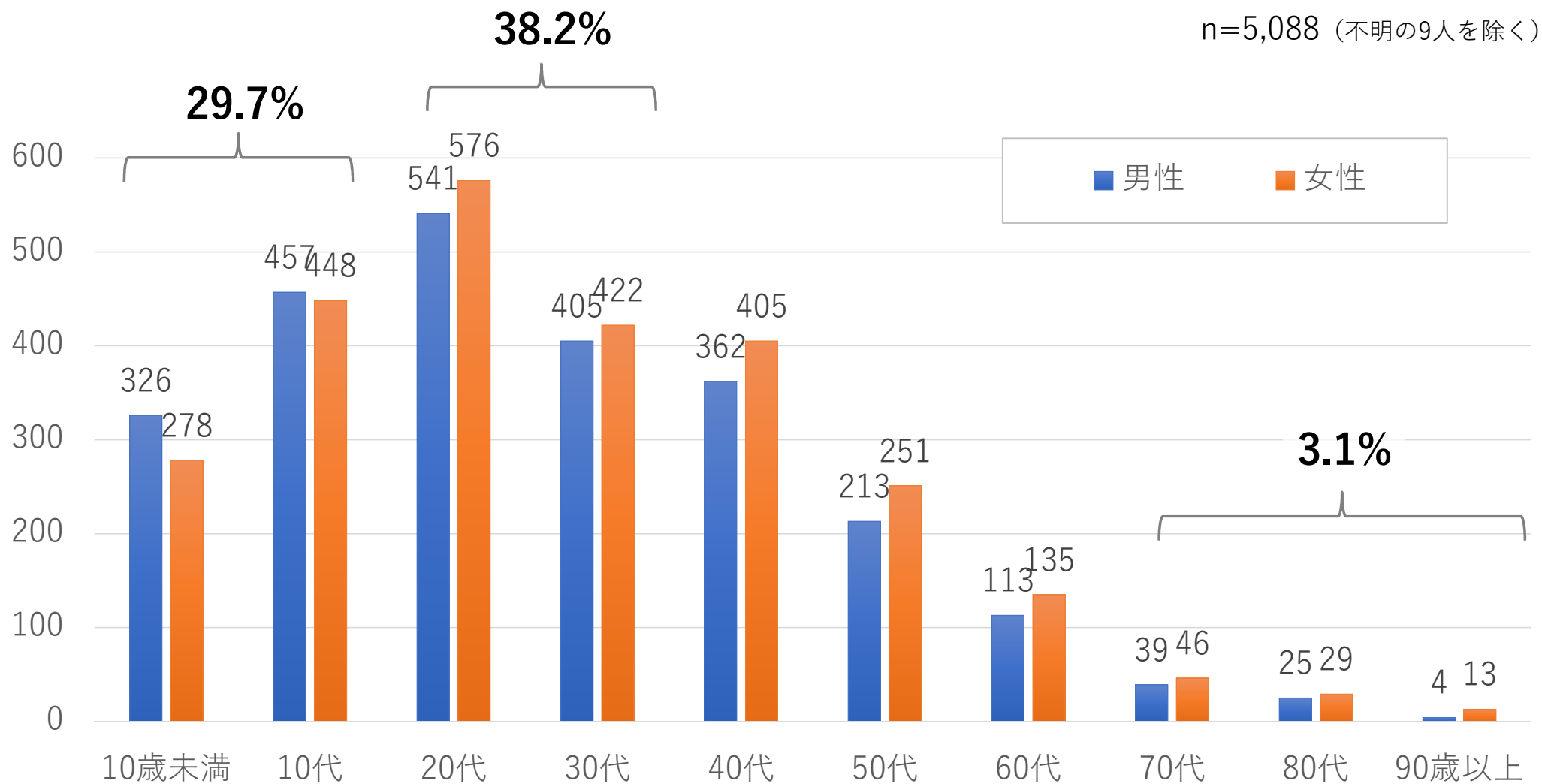


図3 年齢各歳別にみる新規陽性者数（3月21日～27日）



図4 年齢階級別に見る陽性者数の増減率

増減率 = 2022年3月21日～27日 / 2022年3月14日～20日

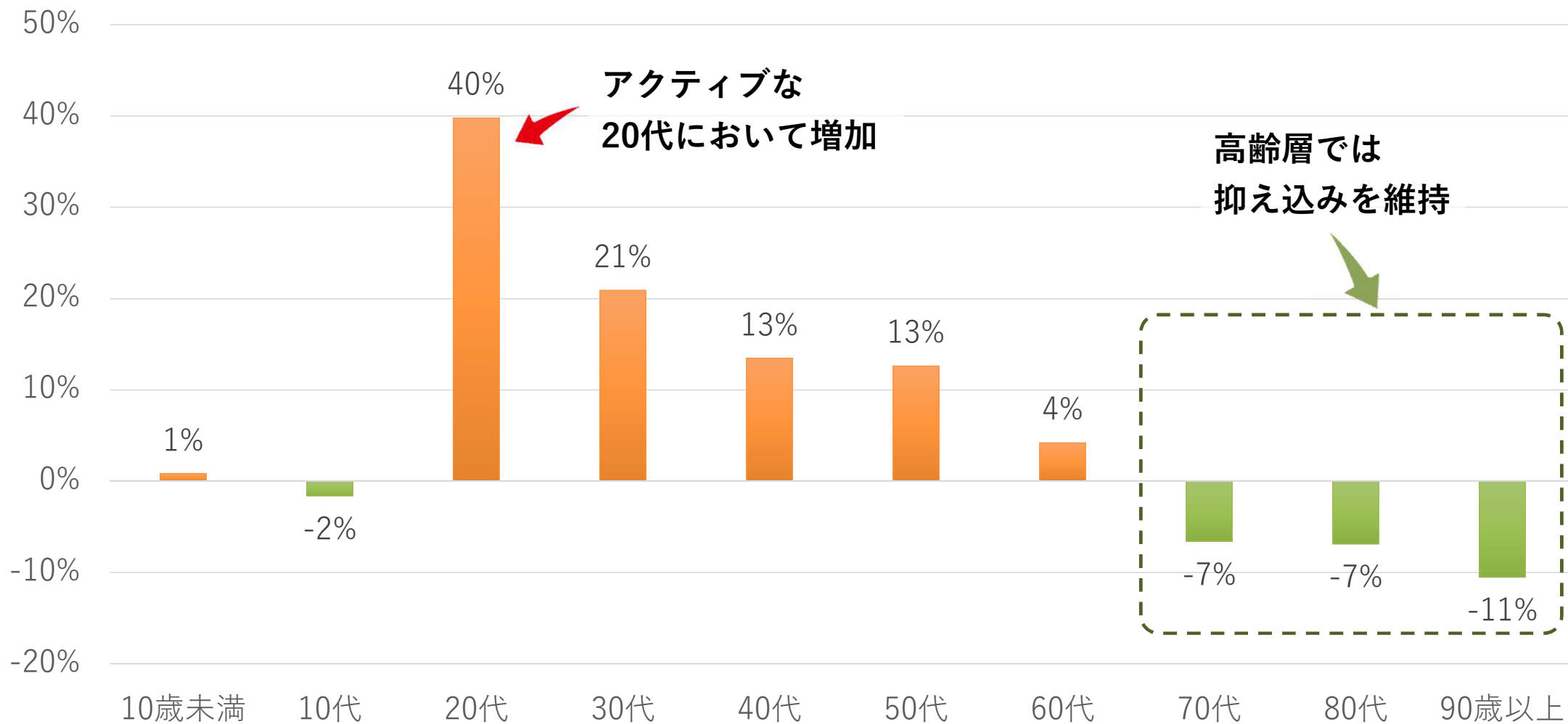


図5 幼年・若年層における推定感染経路（沖縄県）

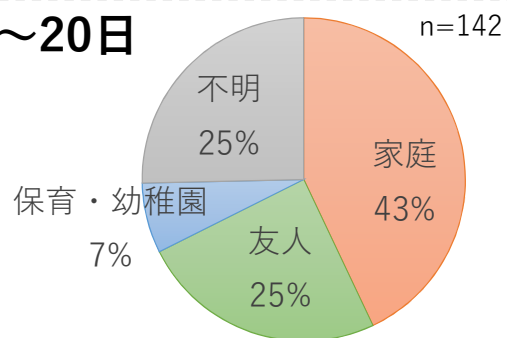
保育・幼稚園児

小学生

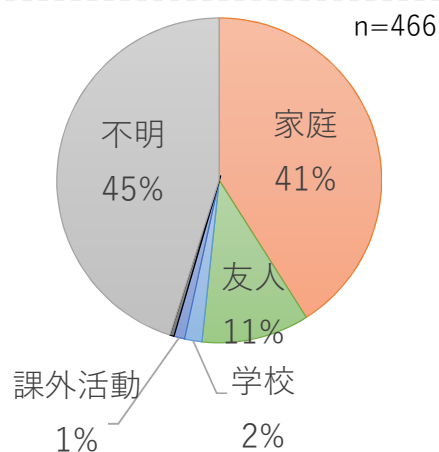
中学生

高校生

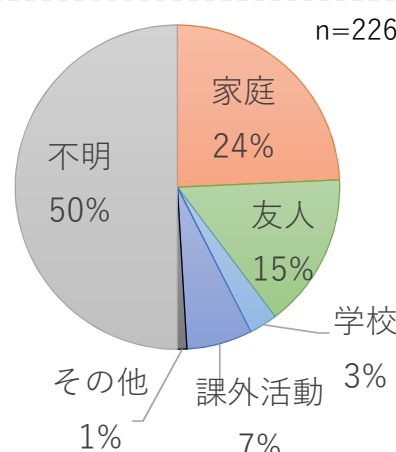
3月14日～20日



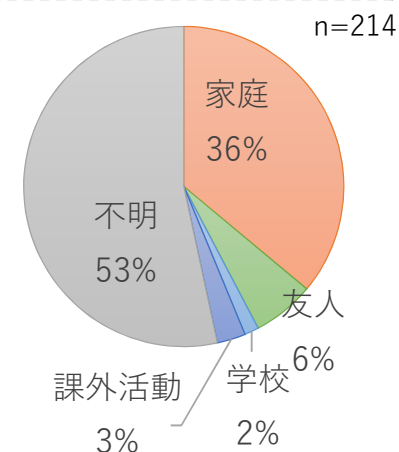
n=142



n=466

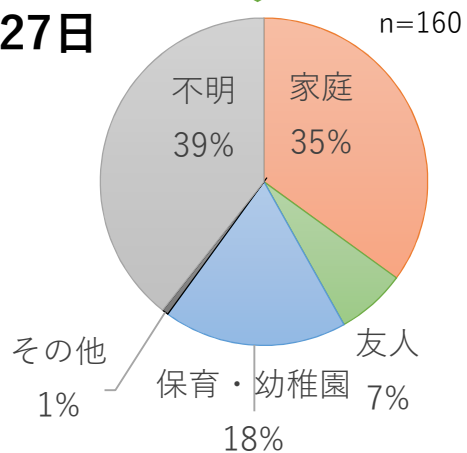


n=226

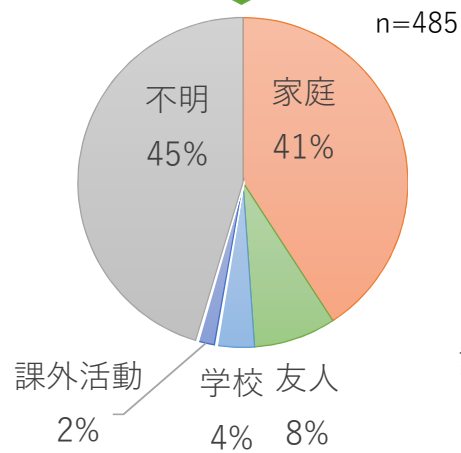


n=214

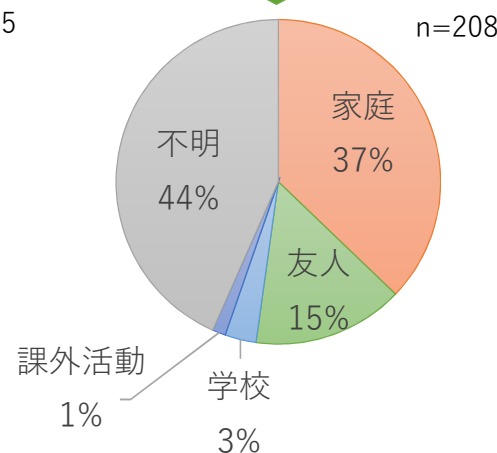
3月21日～27日



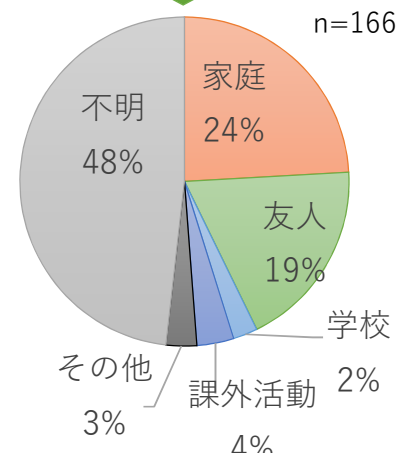
n=160



n=485



n=208



n=166

図6 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計

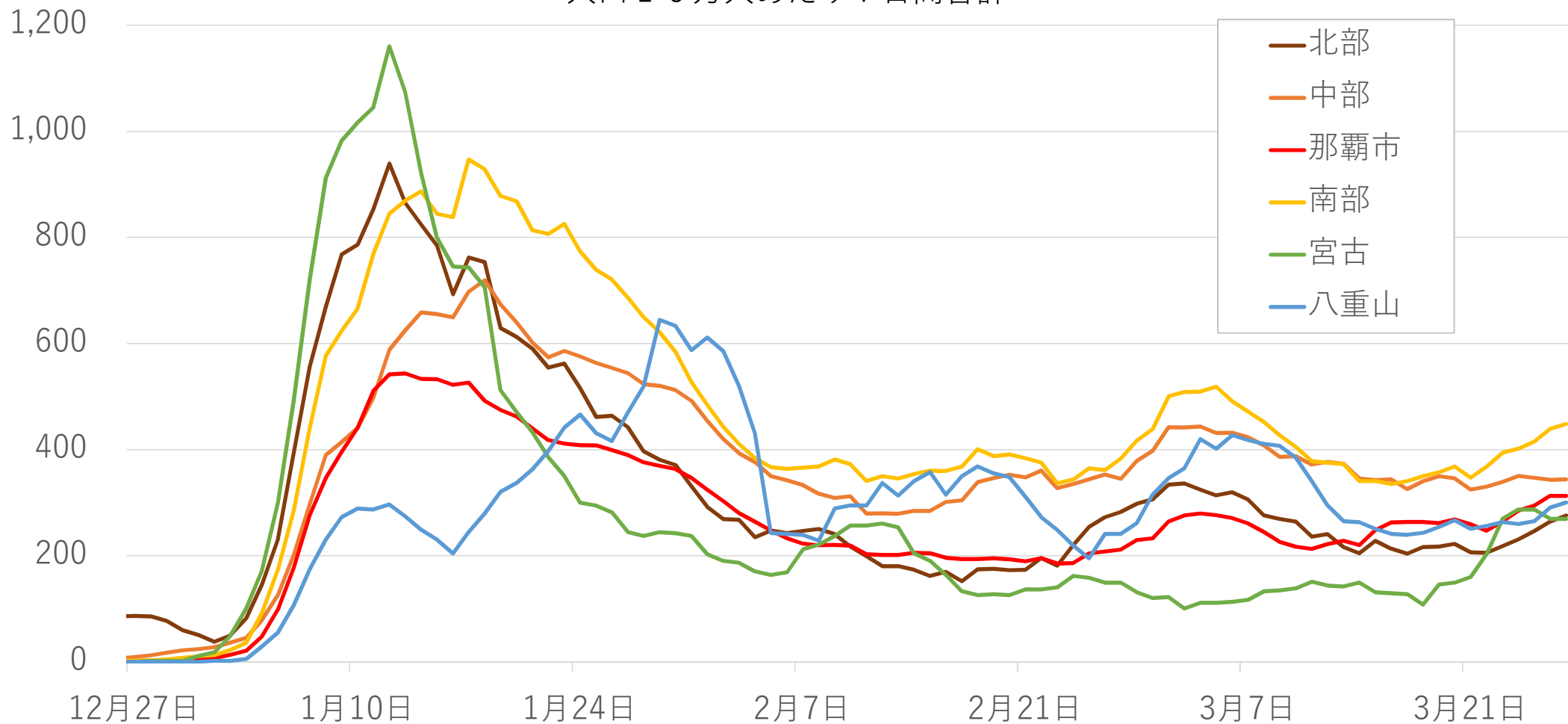


図7 沖縄県・市町村別ヒートマップ (3月21日~27日)

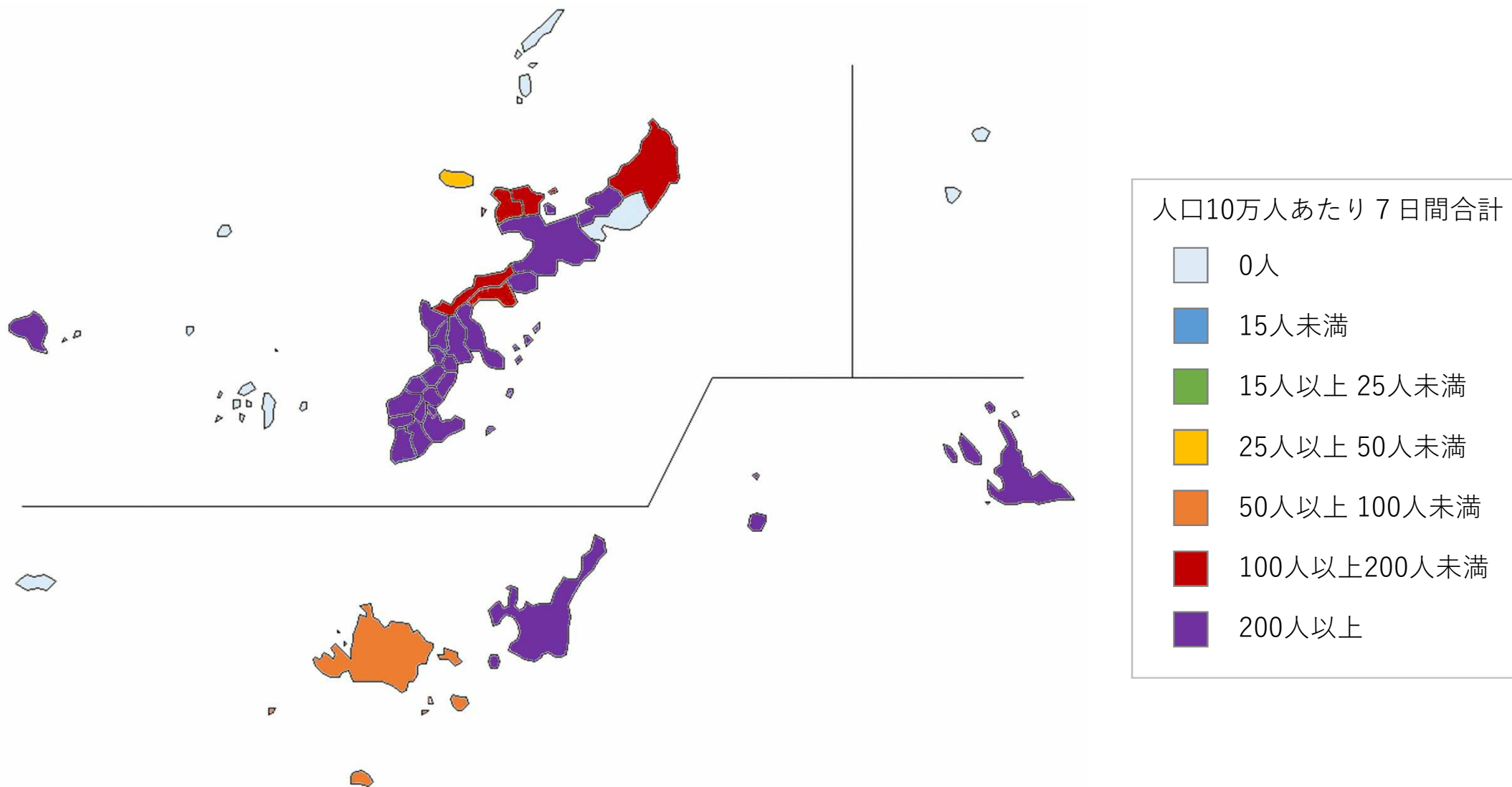


図8 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

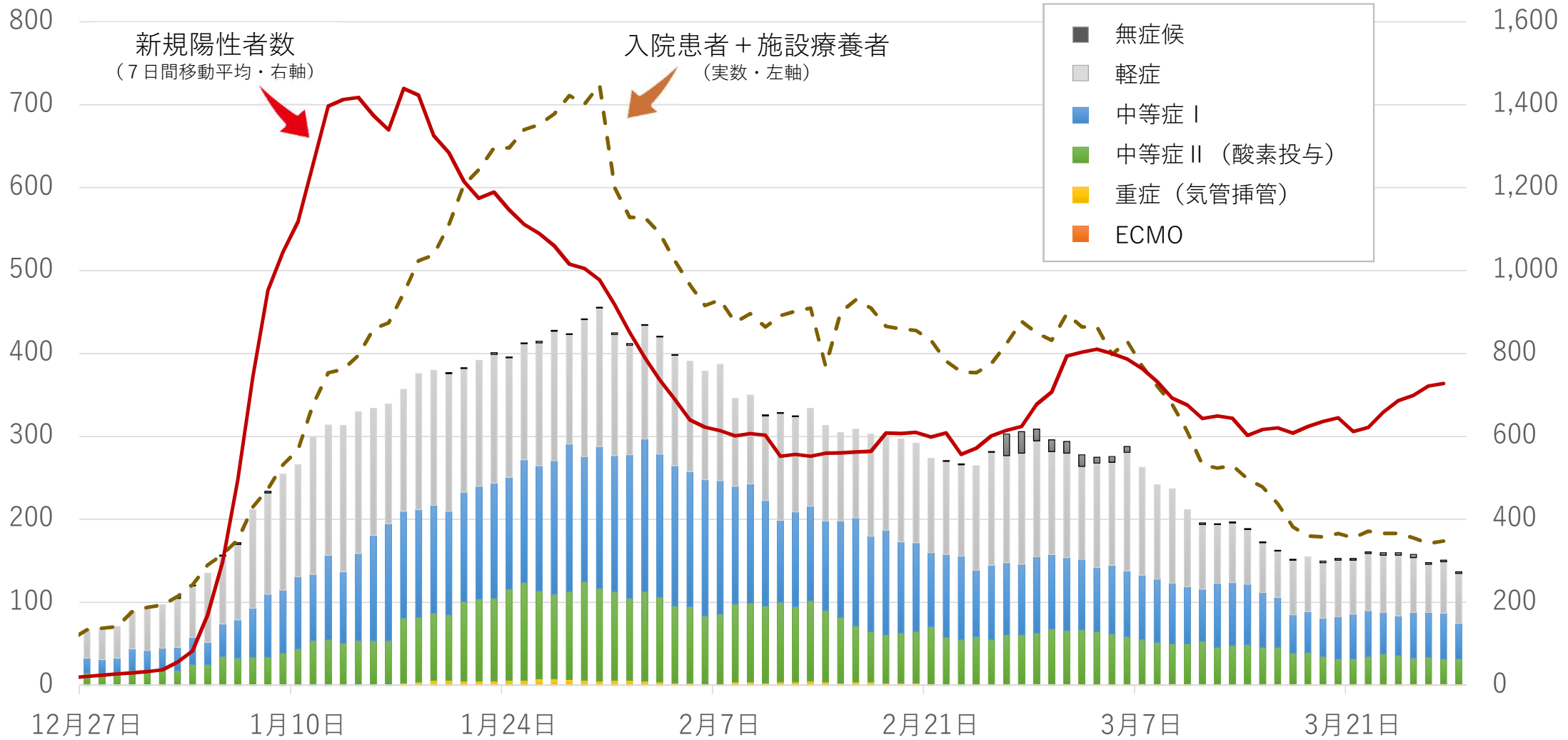


図9 今後1週間（3月28日-4月3日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）				入院患者数※				重症患者数※			
	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0
北部	135	271	546	1,099	12	13	16	20	0.0	0.1	0.1	0.1
中部	856	1,723	3,470	6,987	44	55	73	104	0.3	0.5	0.7	1.1
那覇市	635	1,279	2,576	5,187	31	38	50	70	0.8	0.9	1.0	1.3
南部	697	1,403	2,825	5,689	25	33	46	68	0.2	0.3	0.5	0.8
宮古	74	150	302	608	4	5	7	9	0.0	0.0	0.0	0.1
八重山	77	155	312	629	8	9	11	14	0.0	0.1	0.1	0.1
合計	2,473	4,981	10,031	20,199	126	155	204	285	1.5	1.9	2.5	3.4

※ 4月3日時点の見込み数

沖縄県疫学・統計解析委員会